

## 奥多摩の三大急登の一つを登ってみよう 六ッ石山

実施日 2016年9月10日(土)  
 天候 晴れ  
 リーダー 白石 恵美子  
 参加者 島本陳重、小村井好枝、石附智恵、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、小名秀鋭、瀧澤きよの、白石恵美子 計9名  
 費用 JR 1,274円(立川起算) 入350円  
 タイム 水根BS(9:00)トオノクボ(10:50-11:00)六ッ石山山頂(11:30-12:15)車道(13:55)羽黒三田神社(14:10)奥多摩駅(14:30)  
 行動時間 5時間30分  
 実働時間 4時間10分

私の個人的都合により1日前倒しにしたため、参加できなかった皆様には申し訳なく思いますが、台風の合間の貴重な晴れの予報のせい、奥多摩からのバスは臨時を含め満員、水根BSに到着。参加者は私を含め9名だが、「登り口がわからないので、ご一緒させていただいてもいいですか」とバス停で言われた単独の女性と一緒に出発。



車道を横断して左の方に「奥多摩むかし道」という標識があり、それに従い、20分程歩くと登山道入口に着く。

民家の横を通り、急登が始まる。さすが、奥多摩の三大急登の一つと言われるだけのことはある。しばらく植林帯の登りが続くが、その後、気持ちの良い自然林になる。やはり9月になり、時折吹く秋らしい風が疲れを癒してくれる。

2時間弱の急登の後、前方が開け、トオノクボに着く。ここからは広くなだらかな尾根道になり、ワラビが群生している。「こんどワラビを取りに来ようよ」という声がどこからか聞こえる。



花の終わったマルバダケブキも多い。新緑の季節ではないが緑が鮮やかだ。半時間ほどで六ッ石山山頂に着く。真新しい大きな石の標柱が建っている。5月に来た時にはなかった。鷹ノ巣山にも同様のものが建ったらしい。個人的には木の素朴なものの方が好きだ。



山頂は広く、他の登山客も殆どおらず、ほぼ貸し切り状態だ。証拠写真のシャッターを、くだんの飛び入りゲストさんに押し

てもらい、昼食にする。その後、下山開始。鷹ノ巣山の方角にほんの少し行き、六ッ石山分岐を東(右)に行く。西(左)に行くと将門馬場を経て鷹ノ巣山に至る石尾根だ。多少石がゴロゴロしているが、さほど危なくはない。斜め右に下る「三ノ木戸林道」という道を分けるが、そちらに行くと延々長い車道歩きになるので、間違っただけで済むように。三ノ木戸山(東に進んだ右手にあるらしい)には行かなかった。

途中から道が深くえぐれて歩きにくいので、その脇にできた踏み跡を辿るが、斜面はだだっ広く、「トコゲモ登山道」という感じでみんな横に広がって思い思いに下る。1時間40分後に車道に出る。更に15分ほどで羽黒三田神社に着く。更に山道と車道を経て奥多摩駅に到着。



今日のコースは特に危ない箇所もなく、ゆっくり歩いた割には会報の行程より2時間弱短かった。

登りはほぼ昭文社の地図のコースタイム(以後CTと略す)通りだが、下りがCTより短かったのは地図が間違っているのか、それとも皆さんが健脚だから? とともに、本日、付き合ってくれた皆さん、お疲れ様!ありがとうございました。

また、一緒に歩いていただければ嬉しいです。

(記:白石 恵美子)

(写真提供・伊藤久雄/石原勝正)